



# 2025 年度 徳島北高校 総合的な探究の時間 (K-TOP) I 学期



## 目的

生徒一人一人が社会の一員であることを自覚し、よりよい社会の創出に向け、魅力ある地域社会づくりの方策を主体的に探究します。地域を学びのフィールドとして、地域の行政や商工会、NPO法人などと連携し、地域の魅力と課題を考え、その解決に向け学年を越えて協働します。教科横断的な学びを通して8つのプロジェクトに取り組み、学びの意欲を高め質の高い教育活動を目指します。

## 研究および活動の内容

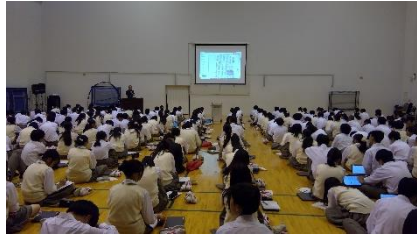
本校周辺の「地域の課題」を、8つのプロジェクト（Ⅰ 防災プロジェクト、Ⅱ 北高オリジナルユニバーサルラーメンプロジェクト、Ⅲ JR勝瑞駅活性化プロジェクト、Ⅳ スマート農業プロジェクト、Ⅴ 異文化交流プロジェクト、Ⅵ 健康・町づくりプロジェクト、Ⅶ 観光地づくりプロジェクト、Ⅷ 阿波藍プロジェクト）に分け、学年を越えて協働して課題解決に向けて取り組んでいます。校内での成果発表会を令和8年1月27日（火）に開催します。さらに愛媛大学主催の社会共創コンテストなど各種コンテストへの応募や地域でのイベントに積極的に参加し、発表や展示を通して行動する力を養います。

## I 学年 探究に必要な知識・技能を身につける

徳島大学 田口 太郎氏（4月）  
講演「関係人口について」



徳島新聞社 平田 潤氏（7月）  
講演「北高周辺地域の課題について」



## 普通科 講座

I 学年の各教科担任が「国語」「数学」「英語」「理科」「地理」「歴史」「情報」を担当し、ローテーション方式で1組から6組までの6クラスに対して講座を開きました。複数の先生で実施し、探究活動に必要な基礎的な事柄を学びました。



教科の特性を生かして、「要約の方法」「データサイエンスの考え方」「異文化の理解」「実験や観察、測定方法を学ぶ」「地域調査の手順や統計データの使い方」「藍住町と北島町の歴史や文化を学ぶ」「タブレット基本操作をマスターする」など幅広い内容を実施しました。2学期以降のプロジェクト活動に生かしてほしいと思います。



## 国際英語科

「国際×観光」インバウンドで徳島を元気にするプロジェクト始動

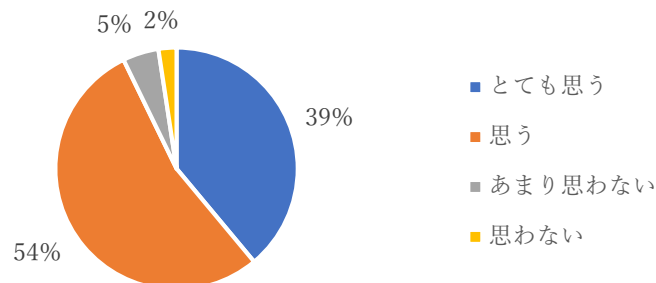
～とくしま生徒まんなか探究活動推進事業～



日本へのインバウンド数が増加する一方、徳島県への訪問者数、宿泊者数が伸びない理由は何なのか、様々なアンケートやデータを分析し、課題を考察していきます。強みである語学力・探究力・国際性を生かし、より効果的な徳島の魅力発信方法について考察し、若者らしい新しい視点で世界に向け「徳島の魅力」を発信していきます



アンケート調査各教科による「講座」は探究の方法を知ったり、身につけたりすることにつながったと思いますか。



## 2 学年・3 学年

### I. 防災プロジェクト

#### (1) 仮設住宅 対策チーム

藍住町役場、北島町役場の方に、南海トラフ大地震の際の仮設住宅建設に関する現状と各町の課題について教えていただきました。



**藍住町の課題**：設置できるのは「桜づつみ公園の駐車場」のみであり、藍住町が保有する土地が少ないため設置することができない状況です。

**北島町の課題**：地震の規模によっては、津波による浸水、液状化現象が起きるため設置が困難となる可能性があります。2つの町とも仮設住宅の建設は非常に難しい現状ですが、高校生の発想力で解決策を考えられるでしょうか？

10月26日（日）藍住町防災フェス

11月9日（日）北島町総合防災訓練で研究成果を展示します。

#### (2) 災害関連死 対策チーム

避難所での心身のストレスなどによる「災害関連死」が問題となっています。南海トラフ大地震が起きた際、どのようにすれば災害関連死をなくすることができるのでしょうか。災害関連死には「BKT（ベッド・キッチン・トイレ）」の改善が必須だとわかり、快適な「BKT」にするためにはどうしたらよいか探究中です。

5月に自衛隊の方から過去の被災地での避難所の様子を伺いました。



#### K 防災食

避難所で水だけで美味しく食べられる食事、停電でも温かい食事を食べる工夫などを考えて実験して検証しました。



#### B 避難所で最も快適なベッドを調査しました。



ダンボールベッド41cm、ダンボールベッド25cm、コット（キャンプ用ベッド）エアベッドの4つに実際に横になってもらい校内でアンケート調査しました。

#### T トイレ

避難所のトイレは様々な問題がありますが、悪臭問題が大きな課題と考え、アンモニア水を使って脱臭効果のあるものは何か、研究・検証しました。





## II. 北高オリジナルユニバーサルラーメンプロジェクト

徳島では、アジア系外国人が増えています、「ヴィーガン」や「ハラル」対応の徳島のラーメンはありません。誰でも美味しく食べられる北高オリジナルラーメンを作って地域貢献を目指しています。

### (1) アンケート・インタビューの仕方や、ユニバーサルラーメンについて学びました。

「あわわ」のライター高木さんの講義を受けました。具体的にアンケート項目やインタビューの質問内容をグループで話し合いました。ユニバーサルラーメンを作るには、ラーメン店の店長やお客さん、県内に住む外国人の方に何を聞いたらよいか、それぞれ決めました。またハラルとは何か、ヴィーガンとは何かを理解し、具材なども考えました。



### (2) アンケートとインタビューを実施しました。

藍住町と北島町のラーメン店にご協力いただき、アンケートをお願いしました。夏休み中の約1か月、北島町と藍住町の4店舗にQRコードによるアンケートを置かせていただきました。

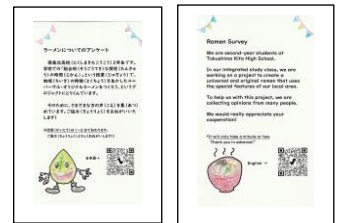
徳島県内在住の外国人やラーメン店のオーナーさんにインタビューしました。また、ALTの先生や異文化交流プロジェクトの方にも協力いただき、意見を集めています。

北高ラーメンは、どんなラーメンにしたらよいか、2学期中に形になるように頑張っています。



お店に置いていただいたアンケート

(日本語版・英語版)



## III. JR勝瑞駅活性化プロジェクト

JR勝瑞駅はいろんな人が利用しますが、駅の困りごとはありませんか？駅員さんが不在になり、ちょっと寂しくなった勝瑞駅を活性化させるためにはどうすればよいでしょうか？

4月 実際に駅を見に行き、駅舎内外にある様々な課題を発見しました。



5月 北高ロード商店街の昭月堂の山丸さんから昔の勝瑞駅の様子を教えてくださいました。

6月 徳島県交通政策課の中田さんから県内の交通状況や駅活性化の事例について教えてくださいました。



グループに分かれて、課題の解決案を考えました。



多くの人から親しまれるJR勝瑞駅を目指すため、「あいずみスマイリーマルシェ(11月23日)」に合わせて

「徳島北高校主催 JR勝瑞駅マスコットキャラクター募集」を企画しました。藍住町と北島町の小中学校にお願いに行きました。

スマイリーマルシェ当日は、北高北門付近でマルシェを出店します。

店の名前は、「北高生といっしょにあそぼう」

内容は「紙飛行機大会」&「葉っぱアート」です。

みなさんぜひ遊びに来てください！！

※葉っぱアートは、「阿波藍プロジェクト」のメンバーが育てて沈殿藍を作るのに使った藍の葉を乾燥させて行います。いっしょに勝瑞駅を盛り上げましょう！



## IV. スマート農業プロジェクト

### (1) 栽培班

バジルの栽培を行い、画像解析による成長モニタリングと収穫予測を行いました。

鳴門教育大学の米延教授にバジルの種まき、水やり、一眼レフカメラを用いた記録写真の撮り方を教えてくださいました。毎日、放課後にバジルの成長を写真に記録しました。さらに鳴門教育大学学部4年の山田さんに講義していただき、HSV色空間を用いた画像解析について学びました。

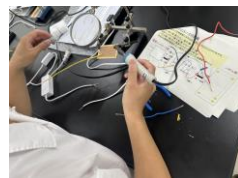


栽培をして失敗したこと、改善すべきことを次に生かせるようにし、2学期は根菜類にチャレンジする予定です。  
葉っぱの画像解析で土の中の野菜の成長を予測できるようになるように頑張ります。

### (2) プログラミング班

C A I 教室で鳴門教育大学の宮本教授にご指導いただき、マイコンボードと赤外線センサー、アクチュエーター(電子ブザー・LEDパネル)を活用した害鳥対策を行いました。

害鳥対策にはどのような方法が適しているかを検討した結果、鳥が近づいてくると赤外線センサーで感知して、音を鳴らすか、LEDフラッシュパネルが光ることによって撃退できるのではないかと考えました。その際に、マイコンボードに備えられているC言語に近いプログラミング言語を用いて、プログラミング活動を行いました。センサー、アクチュエーターを用いた電気・電子工作は、授業中だけでなく、夏休みを利用し、鳴門教育大学の実験室でも行いました。



2学期はWebカメラの設置を目標に頑張る予定です。自動で水やりをし、肥料や農薬の時期を判断できるようなプログラミングに挑戦したいと考えています



## V. 異文化交流プロジェクト

2070年には日本全体で10人に1人が外国人

私たちの町に住む外国人の人たちが住みやすい町づくりを考え、地域共生社会構築のために、私達にできることに取り組みます。

- 私達のグループテーマ（5/27 NPO 法人 YOU&you 代表岡田さんの講義のあとテーマを相談）
- グループ1 生活支援：多言語による生活情報の発信、買い物しやすいポップ作り等
  - グループ2 健康支援：病気対策や予防について
  - グループ3 災害時の対応支援：外国人対応の避難訓練、コミュニケーションカードや誘導マニュアル
  - グループ4 文化・スポーツ体験交流：日本語教室や北高で伝統文化・スポーツを通して交流
  - グループ5 ユニバーサルクッキング：郷土料理紹介や誰もが食べられるユニバーサルメニューで交流

日本語教室に通う外国人参加者にインタビュー&交流



○テーマについて私達が企画しイベントを開催★チラシを作成し(日/英)、様々な機関に呼びかけ外国人の参加者を募りました。(徳島大学・四国大学留学生/技能実習生等)



7月13日(日)ユニバーサル・クッキング(調理室)&スポーツ(多目的ホール)メキシコのタコスを作って交流/伝統的な福笑いや日本の遊びで交流会

7月19日(日)郷土料理そばを調理して交流(北島子ども食堂あすなろ)



体験を通して外国人側の視点から考えることの大切さがわかった

7月26日(土)徳島市「ニュースポーツのつどい」に四国大学留学生と参加



2学期には四国大学留学生と合同授業を予定

藍住町や徳島県の国際交流協会日本語教室へ



言語の壁を解決しよう!

## VI. 健康・町作りプロジェクト

### (1) 町づくり班

歩いて健康な町づくり、車に乗らない高齢者や外国人も住みやすい町づくりを目指しています。

町づくり班では、北高周辺で交通事故が起こりやすい場所や不審者がしやすい場所など危険な場所を探してみました。

また11月の「あいずみスマイリーマルシェ」でスタンプラリーを企画し、スタンプの台紙やゴム印をデザインしています。楽しく歩ける工夫としてフォトスポットづくりを行っています。

勝瑞駅、南陽神社、藍工房、マルシェ会場(勝瑞城館跡)の道を、一緒に楽しく歩いてみませんか?



### (2) 環境班

藍住町と北島町は、川がたくさんありますが、水質はどうなっているのでしょうか。正法寺川と見性寺の池の水を採取して、COD、アンモニウム態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素などを測定しました。どのように水質を改善することができるのかを検証しています。



### (3) 医療班

10年後の医療はどうなっているのでしょうか?

医療費の増大、医療従事者の不足など医療体制はどうなっているのでしょうか。今ある医療に関する課題を考えながら、将来の医療のあり方を考えていきます。海南病院の医師である國永先生の講義を受け、徳島大学医学部医学科、薬学部の大学生と話をし、徳島県の医療について学びました。



## VII. 観光地づくりプロジェクト

藍住町・北島町は徳島市のベッドタウンとなっています。2つの町には、祖谷や鳴門のような景勝地や観光名所はありませんが、観光業は宿泊・飲食・土産・交通など町の雇用を生み出し、地域活性化につながる魅力ある産業です。阿波おどり空港からも近く、外国人観光客にもちょっと立ち寄ってもらえる観光地づくりをして、地域貢献を目指します。

### (1) 「勝瑞城」を有名にしよう!

日本城郭協会から続日本100名城に選定され、御城印が販売されています。地元の人も含め、多くの人に知ってもらうために北高生が「勝瑞城キャラクター」の「しゅっぴー」を考えました。今は「城ステッカー」を作成中です!! また外国人観光客の方にも来てもらえるような「外国人向けのパンフレット」も考案中です。

「しゅっぴー」



「観光地づくりプロジェクト」は、「あいずみスマイリーマルシェ」に出店します! 北島町の「kuchen」さんとコラボします♪ ぜひ遊びにきてください

### (2) 藍住町・北島町の新しい魅力を考えています!!

藍住町・北島町といえば? 美味しい店・特産物、お土産、ここに来ないと出来ない体験って何があるでしょうか? 新しく「魅力あるもの」を考案して、観光客を呼び込むことはできないでしょうか? 歴史や文化、自然、地形、産業を生かした藍住町、北島町ならではの魅力づくりを考えます!!

あいずみスマイリーマルシェで、藍住町の特産品である「藍染め」の作品を作って販売します。自分たちで藍染めた布で、かわいい雑貨を作りました。ぜひ買いにきてください。





## VIII. 阿波藍プロジェクト

### 藍の効能って何でしょうか？

昔から生活の中で欠かせない存在の藍。藍染めが有名ですが、染色だけではなく、薬草として食べ、藍茶として飲用されています。藍の効能を調べることで、藍の付加価値を高めることになり、地域活性化に貢献したいと考えています！！

### (2) 沈殿藍づくり

4月にプランターに藍の種まきをして藍を育てました。7月に初めて行った沈殿藍づくりは肥料不足で失敗しましたが、2回目は大成功でした。沈殿藍づくりの方法は、藍の館の吉原さんにご指導いただきました。夏休み中に3回作った沈殿藍と乾燥させた藍葉を使って石鹼づくりをして、効能を確かめる実験を2学期以降に行う予定です。



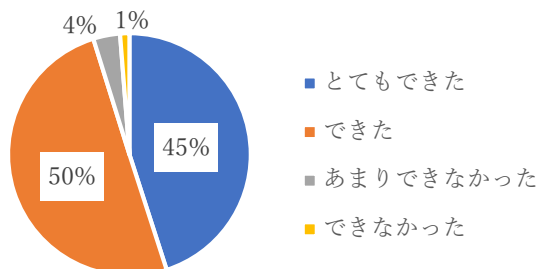
### (1) 藍について学ぶ

ボンアーム代表取締役・藍の館館長である三谷さんに講義をしていただき、藍について学びました。

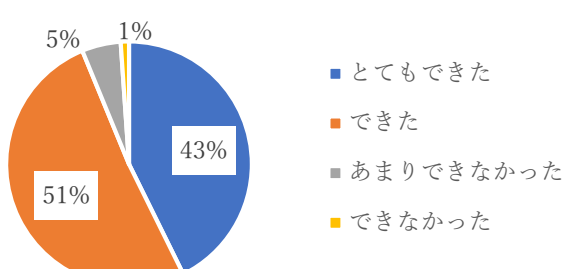


## 探究アンケートの結果(7月実施) 全学年

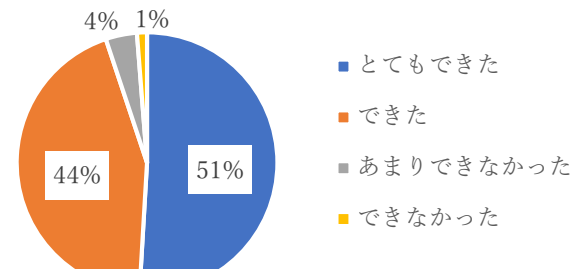
あなたは、興味・関心を持って、前向きに取り組むことができましたか。



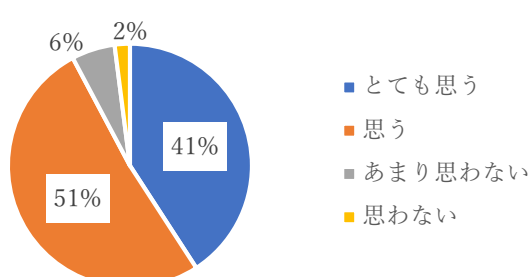
あなたは、自ら意欲的、主体的に活動することができましたか。



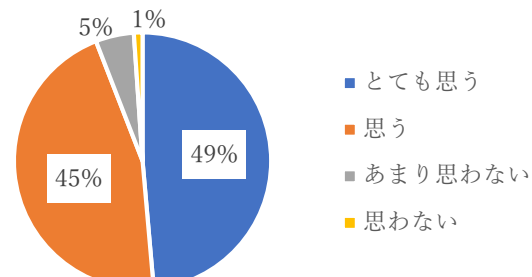
あなたは、グループで話し合うなど、協力して活動することができましたか。



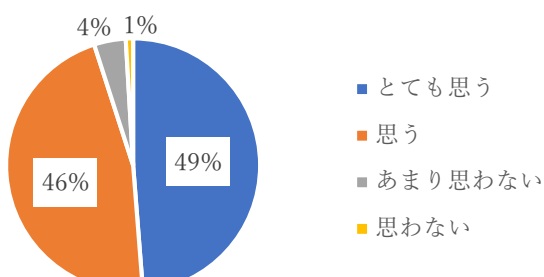
あなたは、「総合的な探究の時間」は充実していたと思いますか。



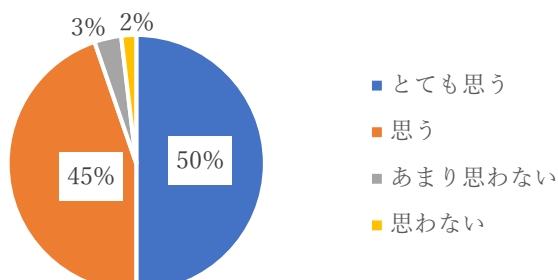
あなたは、地域の課題解決について取り組むことは有意義な活動だと思いますか。



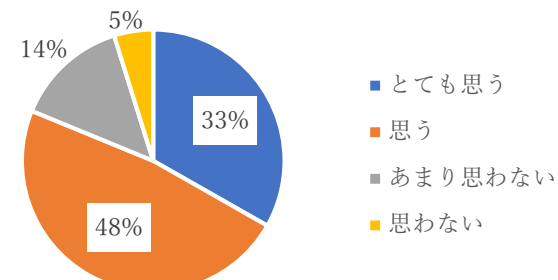
あなたは、地域と関わる「関係人口を増やすこと」が大切だと思いますか。



外部講師の講義は、探究する上で有意義だと思いましたか。



必要に応じて、外部講師の講義を受けたいと思いますか。



自分が所属するプロジェクトの目的、探究する内容を理解していますか。

